

# 2008年1月1日～2018年12月31日の間に 当科において胆道再建術後の肝内結石症の治療を受けられた方 およびそのご家族の方へ

—「胆道再建術後の肝内結石に対するダブルバルーン内視鏡下 ERCP の治療成績」

—ご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院  
研究機関長 金澤 右

研究責任者 岡山大学病院 消化器内科 助教 加藤 博也  
研究分担者 岡山大学病院 光学医療診療部 助教 松本 和幸  
岡山大学病院 消化器内科 医員 石原 裕基

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

膵臓や胆管の手術後には腸管をつなぎかえるため、術後専用のダブルバルーン内視鏡をいうスコープで処置を行っております。現在、このダブルバルーン内視鏡で肝内結石（肝臓の中の胆管内に石ができる）に対して積極的に治療を行っておりますが、治療は難渋することが多く、課題が多い疾患の一つであります。今回当病院で術後腸管に合併した肝内結石のダブルバルーン内視鏡治療の成績を調査します。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

肝内結石に対して、ダブルバルーン内視鏡が安全であるかや有効であることを示すことができます。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2008年1月1日～2018年12月31日の間に岡山大学病院消化器内科において胆道再建後の肝内結石の治療を受けられた方74名を研究対象とします。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認後～2020年3月31日

### 3) 研究方法

手術後の胆道再建（腸管をつなぎかえること）をされた方で、肝内結石（肝臓内の胆管に結石ができること）に対して、ダブルバルーン内視鏡を使用して結石治療を行った方について調査します。

### 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

身長・体重・年齢・性別・血液検査項目・内視鏡検査所見・CT検査所見・MRI検査所見・予後

## 5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院消化器内科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2020年2月29日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 消化器内科

氏名：石原 裕基

電話：086-235-7219（平日：9時～17時）